

「ファニーたい焼きトム41 カニ
クリーム」

第一幕 「カニクリーム爆誕！」

場所：たい焼きトムの店内

（店のカウンター、トムがノリノリでた
い焼きを焼いている。店内にはたい焼き
の香ばしい匂いが充満している。ジュワ
アア…と生地が焼ける音が心地よい）

トム「フィッシュ？ノンノン！あんこ？

イエスバットノン！時代はカニクリーム！

オーマイガー！」（たい焼きをヘラでカ

チカチしながら、妙なダンスを踊る）

魚住「いや、どうしてカニクリームなん
ですか！？たい焼きって、カニ、関係な
いじゃないですか！」

トム「魚住！人生は冒険だ！たまには殻を破らなきゃ、カニだけに！」（ドヤ顔で指を鳴らす）

魚住「すごい自信ですね…でも、お客さん受け入れてくれるかなあ…」

（トムが試作品を差し出す。湯気がもくもく立ちのぼる、黄金色のたい焼き）

トム「トライしてみて！ワオ！クリーミー！エクスプロージョン！」

（魚住、しぶしぶ口にする。一瞬の沈黙。そして、目を見開く）

魚住「…熱っ！熱い！…けど…うわっ、サクッとした皮の中から、とろっとろのカニクリームが…これ、出汁が効いてる！？カニの風味がふわっと広がって、ミルクとバター濃厚さが…っ！…意外と…アリ？」

（驚きつつも、複雑な表情）

トム「シー！？言ったでしょ！？カニクリームイズニューたい焼き！アツアツのクリームが口の中で爆発して、カニの旨味が踊る！これぞエンターテイメントたい焼き！」

（ポスターをドーンと店頭に掲げる。「新登場！カニクリームたい焼き！」とド派手な文字）

魚住「……本当に大丈夫かなあ……」

（客足が増えてくる）

第二幕 「第一陣・お客のリアクション」

（様々なお客が訪れる。リアクションは千差万別）

常連のサラリーマン「たい焼きはあんこ
一択って決めてるんだが…カニクリー
ム！？試してみるか…（一口）…な、な
んだこれは…！」

（目を閉じ、舌の上でじっくり味わう）

サラリーマン「…外はパリッと香ばし
くて、噛むとじゅわっとバターの香りが
広がる…中のクリームは…うわっ、濃厚！
とろけるのに、しっかりカニの旨味が主
張してる…いや、たい焼きとは！？（混
乱）」

大学生カップル 彼氏「うわ、ネタ粹たい
焼きじゃんwww」

彼女「えー、意外と美味しかったりし
て？」（彼氏が食べる。熱さに驚きなが
らも、もぐもぐと口を動かす）

彼氏「…オーマイガッ…！？」

彼女「え？マズいの？」

彼氏「いや、うますぎてヤバい：啣んだ瞬間、クリームがどばつとあふれて、熱々で濃厚で、カニの旨味が舌にじわつと染み込む：！」（彼女も食べる。ふたりで顔を見合わせる）

彼女・彼氏「これ、革命じゃん：！」

第三幕 「洋食屋のシェフ、衝撃を受ける」

（近所の商店街の洋食屋『ピストロ・タカハシ』のシェフが来店）

シェフ高橋「なんだなんだ、この行列は：？たい焼き屋でこんなに並ぶなんて、よほど美味しいのか？」

（興味津々で店に入り、カニクリームた
い焼きを注文）

（ひと口食べると、驚愕の表情。瞳孔が開き、静かに口の中で味わう）

シェフ高橋「……な、なんだこれは……！？サクッと香ばしい生地を噛んだ瞬間、熱々のクリームがとろっと流れ出す……っ！このクリーム、単なるホワイトソースじゃないな……！カニの旨味が凝縮されて、バターと生クリームが見事に絡み合い……これは、まるで高級フレンチのスープをたい焼きに閉じ込めたような……！」

（絶賛しながら、夢中で食べる。もう一つ、さらにもう一つと手を伸ばす）

シェフ高橋「すごい……こんなたい焼き、今まで見たことがない……！」

（周囲の客も同意するようにならずく。トム、ドヤ顔）

トム「ウエルカムトゥーたい焼きレボリ
ーション！」

（魚住、複雑な表情）

魚住「……普通のたい焼き屋に戻れなく
なりそうな予感がする……」

（客たちはどんどんカニクリームたい焼
きを注文し、店内は熱気で満ちていく）

第四幕 「シェフの決断」

（シェフ高橋、数日後に再び来店。表情
は悩ましげ）

シェフ高橋「実は最近、店の売り上げが
伸び悩んでいて……お前のカニクリームた
い焼きを、うちのメニューに加えたいん
だ」

（トム、目を輝かせる）

トム「ファンタステック！それはたい
焼きの新時代の幕開けだ！」

（魚住、少し心配そうに見つめるが、ト
ムは即決）

トム「オッケー！やろう！」

（試作と調整のシーン追加。店のスタッ
フと試食会を開く）

スタッフ「このたい焼き、ウチのビーフ
シチューとも相性いいかも？」

シェフ高橋「たしかに！これは大ブレ
イクの予感だ……！」

第五幕 「大繁盛と魚住の焦燥」

（トム、カニクリームたい焼きを大量生
産し、ピストロ・タカハシに配達）

（店は連日満席。客たちがたい焼きを頬張りながら歓喜の声を上げる）

客1「うますぎる：！こんな洋食アリかよ！」

客2「たい焼きなのに高級感ヤバイ：！」

（テレビ取材が入り、大騒ぎに）

リポーター「いま話題のカニクリームたい焼き！まさかの洋食店コラボで超話題！」

（魚住、店の隅で呟く）

魚住「……いつ普通のメニューに戻れるのかな？」

（トム、笑顔で魚住の肩をポンと叩く）

トム「さあ、次は何を作ろうか！？俺は：ワサビクリームとかどう思う？」

（魚住、真顔で固まる）

魚住「もうやめてください……」

（幕閉じ）